

第 25 回 AI 社会論研究会のお知らせ

日時： 2017/6/22 18:00-20:00

会場： 理化学研究所 革新知能統合研究センター

主催： JST RISTEX 法・経済・経営と AI ロボット
技術の対話による将来の社会制度の共創

共催： 慶應義塾大学 SFC 研究所 AI 社会共創・ラボ

プログラム①

政策的視点で考える AI イノベーションの現状と課題

○講演者

慶應義塾大学環境情報学部准教授 山口真吾氏

○概要

AI に関する研究開発やイノベーション創出方策について、国内における産学官の取組と課題を政策的視点で概観する。また、今後の重要な AI 技術として注目されつつある「自然言語処理」に関して、最新動向や防災応用を紹介する。最後に AI 社会論研究会への期待を述べる。

○プロフィール

【略歴】

2017 年 4 月- 慶應義塾大学環境情報学部准教授（有期）
2015 年 8 月- 総務省情報通信国際戦略局技術政策課 企画官
2014 年 4-9 月 早稲田大学政治経済学術院 非常勤講師（兼務）
2012 年 8 月- 総務省情報通信国際戦略局国際経済課 企画官
2010 年 8 月- 総務省情報通信国際戦略局技術政策課 統括補佐
2007 年 7 月- 総務省情報流通行政局放送技術課 課長補佐（統括補佐）
1999 年 2 月 英国 City University 修士課程修了
1995 年 4 月- 郵政省（現総務省）入省
1995 年 3 月 早稲田大学理工学部電子通信学科卒業

【専門分野】

情報通信政策、電波政策、人工知能（社会課題解決型、自然言語処理）、地上デジタル放送システム、ICT システム海外輸出戦略、防災・減災 ICT システム、技術基準・基準認証制度

プログラム②

シンギュラリティ以前の問題

○講演者

革新知能統合研究センター プライバシーと社会制度チーム チームリーダー 中川裕志 氏

○概要

内容追記予定

○プロフィール

内容追記予定

○講演者

革新知能統合研究センター プライバシーと社会制度チーム チームリーダー 中川裕志 氏

○概要

シンギュラリティという言葉が飛び交い、それがカーツワイルの Human2.0、あるいは遺伝子操作、ロボット (AI) 技術、ナノロボットで武装された人工超知能などを意味するように思われた結果、AI 脅威論が広まったのはここ 1, 2 年のことです。人工超知能のような脅威は、実現の可能性を疑う人も多く、心配する必要はないと主張する AI 研究者は多いようです。彼らは、AI 脅威論は人工知能の研究開発を萎縮させる脅威とみなし、そんなことを気にせず研究を進め、AI をどんどん進化させましようとして主張していると聞きます。たしかに、人工超知能の実現性は、現状では相当疑わしいのですが、だからと言って無批判に AI 技術研究に邁進してよいのかという疑問があります。実は、人工超知能以前（あるいはシンギュラリティ以前）にも、人工知能が引き起こす社会問題は山積みです。ここでは、このような人工知能が誘発する現実的問題について議論したいと思います。

○プロフィール

【略歴】

2017 年 1 月- 理研 AIP 社会における AI 研究グループ長

1999 年 8 月- 東京大学 情報基盤センター教授
東京大学大学院 情報理工学系研究科
および学際情報学府兼任

1980 年 4-1999 年 7 月 横浜国立大学 工学部

1980 年 3 月 東京大学大学院工学系研究科博士課程修了 (工学博士)

1975 年 3 月 東京大学 工学部卒業

1971 年 4 月 東京大学入学(理 I)

【専門分野】

人工知能、機械学習、プライバシー保護技術
